

送 辞

草木が芽吹き、やわらかな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。この度、晴れて山梨大学を卒業・修了し、新たな門出を迎える皆様、ご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

新生活に期待と不安を抱いて山梨大学に入学した日のことを覚えていますでしょうか。勉学に励み、仲間と笑い、共に汗を流し、時には涙したこともあったかもしれません。卒業式を迎えた今日、山梨大学で過ごした日々や仲間との思い出が鮮明に蘇っていることと思います。

学業やサークル、部活動をはじめとする様々な場面において、先輩方は常に私たちの指針となる存在でした。入念に準備を行い堂々と発表する姿に憧れ、私たちが緊張で上手く話せなかった時には、優しく手を差し伸べてくださいました。また、私たちが理解できるまで親身になって教えてくださったこともありました。先輩方の物事に対する熱意や優しさに触れた日々は、私たちにとってかけがえのない財産です。その高い志と尊敬の念を胸に、少しでも先輩方の姿に近づけるよう、これからも日々精進してまいります。

さて、昨年は大阪・関西万博が開催されました。日本はもとより世界中から多くの人々や技術が大阪に集まり、連日、最先端の知見や異文化が交差する様子は、私たちに多くの刺激を与えてくれました。現代社会が抱える課題は複雑さを増し、容易に解決できるものではありません。しかし、持続可能な未来に向けて「自分にはなにができるだろうか」と、改めて考える契機となりました。

このように変化の激しい社会へと、皆様はこれから踏み出されます。その先では、予測困難な事態や壁に直面することもあるかもしれません。しかし、不確実性の高い時代を生き抜くために必要となる柔軟な行動力を皆様は既に備えていらっしゃると思います。そして、どのような逆境にあっても、皆様がこの山梨大学で培われた確かな力や学び、そして共に歩んだ仲間との絆が必ず支えとなり、道を切り拓く力になるはずです。私たち在校生も、皆様の進む道を応援し続けてまいります。

最後になりますが、本日卒業・修了される皆様に、深く感謝とお祝いを申し上げますとともに、新たな門出に際し、これからの益々のご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和8年3月19日
山梨大学 在学生代表
工学部 応用化学科
荻野 真衣